明治四十二年十二月十五日發行（毎月一回十五日發行）
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

明治の女子

第六巻

第十一號

要目

基督降誕節の新しき意義
神自ら汝等を愛す
家庭のクリスマス
明治の女子の心得
歐米婦人の余に與へたる印象
エリザベス・フライ
修養の方法を問ふ
人の爲めに祈禱
ピリピ書解釋

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目次

◎社説
基督降誕節の新しき意義

◎講壇
神自ら汝等を愛す　エチ、エレヴエツト、ルウイス

◎説苑
家庭のクリスマス　本多貞子
明治の女子の心得　井深花子
歐米婦人の余に與へたる印象　丹羽清次郎

◎史傳
慈善家エリザベス・フライ　白井胤綠

◎靜思の友
姉妹方に修養の方法を問ふ　丹羽清次郎
人の爲めの祈禱　同上

◎文苑
クリスマス頌榮歌　尾島眞治
アンナのクリスマス
冬（朝）　辻井やす子
六日間のあらまし　三谷民子

◎聖書の研究
ピリピ書解釋（五）　柏井園

◎女子青年界

日本基督教女子青年會本部の移轉

日本基督教女子青年會本部は東京市麹町區三番町四十一番地に移轉す

部數	定價（郵稅共）	海外
一部	金五錢	金九錢
十二部	金五拾錢	金壹圓

明治四十二年十二月十四日印刷
明治四十二年十二月十五日發行

東京市麹町區三番町四十一番地
發行兼編輯人　エー、シー、マクドナルド

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷人　島連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷所　三秀舍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第八回萬國基督教學生大會
(英國ヲックスフオルド)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督降誕の新らしき意義

我等又茲に耶蘇の降誕の佳節を迎ふることゝなり、欣び祝ふの情は實に禁じがたく感じぬ。各教會に在つては今や其準備の爲めに忙がはしく兒女等は暗誦、祝辭其他祝ひの唱歌等の練習に心取られ、夫れと同時に彼等の兩親や、兄姉其他友達よりの贈物は如何にと心俟ち長く感じつゝあらん。然しながらクリスマスは只兒女の爲めに非らず又大人に於ても種々の欣ばしき感想を以て、此佳節を迎へ或は互ひに思ひ〳〵の贈物などして之れを祝ふことゝなり。更に世間一般に何にの深き考をもなさずして歳晩の事多き中に此節を祝ふの傾向あり、是れ何事にもあれ基督教的習慣の適用せらるゝ實例の一なるべし、之誠に欣ぶべきことにして我等は此佳節の祝はるゝことの年一年に盛ならんことを切望するものなり。

さりながら今年我等が此佳節を祝ふ感想は昨年に比して如何にあるべきや、只例年のことゝして之を祝ふことゝなるや、然らば今年の降誕節は世間一般の記念會と同じく只古きことを繰返へすに過ずして其意義に於て勝れるところなきなり。クリスマスは決して斯の如きものに非らず、必ずや、年々歳々之を迎ふるにあたり前年に勝れる深き意義を發見して之を祝すべきなり。

耶蘇を研究するの壯かんなること他に比するものなく、然も益々之を尊敬し崇拜するの念を深からしむる實に驚く可きことなり。近來聖書の研究の盛にして特に學生間に其著しきを見る。然も其發見するところは耶蘇なる歴史上の人物の偉大にして無比なることなり。是れか爲めに學生の心に彼れを敬愛崇拜する情愈々切に益々加はるを見る。而して、彼等は使徒行傳及び書簡を通じて基督を信じ、今尚ほ生きて我等の中に在し給ふ救主として愈々篤く彼に奉仕するを見る。然らば彼等が降誕節を祝するにも之れを十年若しくば五年否昨年に比して大なる相違あることを感識するならん、是彼等の主耶蘇を信ずるとのいよ〳〵深きを加ふるに至れるに依るなり。然らば我等も亦主耶蘇を知こと聖書を學ぶと今年は昨年よりも深からんには必ず今年のクリスマスを祝ふにあたり其意義一層深く感ぜらるべきなり「永生とは唯獨の眞神なる爾と其遣してイエスキリストを知る是なり」此イエスの聖言に依つても眞神なる父と救主イエス、キリストを知るの必要なること誠に明かなり。而してイエス、キリストに關する此知識は固より只一度之を得たるに依つて足れりとするに非らず、絶へず、益々深く廣く之を知るの必要ありと云ふべし。斯くて我等は永生を得たるものとなるなり。然れば毎年我等が耶蘇の降誕を祝する時は、我等が耶蘇を知ることの昨年に比して

如何に進歩したるかを計るべき好時節なり、姉妹諸君よ、諸君が今年耶蘇を祝する時に其意義に幾何の差を發見するや是れ實に吾人の諸君に問はんとする所なり。

耶蘇を識るとは只其の一生を研究して其の學ぶ處の深く且つ廣きに至るのみならず又吾人の衷に生き、吾人と最も親密に交り吾人を助け導き給ふ基督を識るを意味す。故に吾人が此祝節に際し此意味にて吾人は昨年に勝りて如何に深く又能く耶蘇を識るに至りしやを問はざるべからず。記者近頃基督敎の一婦人に會したるに其婦人は三四ヶ月前より、心に神の恩恵を感じ自らの神經的に腹立ち易き性質に大なる變化を覺へ、耐忍の力を得たるを悟り、親戚中の心易きものも其の婦人の近時の變化に注意し、之れ實に基督敎信仰の結果なりとし、爲めに彼等も道を求むる心を生ずるに至れりと云ふ。此婦人は必ず今年の降誕の祝會に連なる時には昨年に勝れる意義を感じ前日に倍する欣びを以て此日を迎ふるならん。吾人は亦此一ヶ年間耶蘇基督に就て學び且つ識りたる所は前年に勝れるものあるを要す。吾人は耶蘇に就て學び又親しく耶蘇より敎へらるゝ處あるに依り、信仰の増し加ふるに至るなり。依つて敢て吾人は姉妹に問はざるべからず、姉妹方は何等の新らしき意味を以て今年の降誕を祝せんとしつゝあるやと。イエスの膝下に座して泌々と其の敎を聞きたるマリヤは靜に倍々深くイエスを知り、後其降誕日を祝する時には實に新らしき意義を以て此日を喜びしならん。

更に今一歩進んで姉妹方に御勸め申したく思ふは諸君が此

祝日の好機を利してイエスキリストに就て識れる所を日曜學校の小供にも語り、朋友にも告げ、時に依つては多くの人々の集まれる所にても述べ以て、祝會を以てキリストの救ひの道を證明する時となさんことなり。世に多くの善き業ありと雖、高き清き紳士淑女を人々に紹介し、人々をして此等の好模範を慕ひ、其生活敎訓に感服し之を實行せんと志ざゝしむるより勝りて善き業は非らざるなり。ペテロが能く僅少の言葉即ち『かれ罪を犯さず又その口に詭譎なかりき、かれ詬られて詬らず苦められて厲言を出さず只義を以て鞫く者に之を託たり、彼れ木の上に懸て我儕の罪を自ら己が身に任給へり是我儕をして罪に死て義に生しめん爲なり彼の鞭扑れしに因て爾曹醫されたり』と云へるイエスの一生は實に古今に比類なき人物の生涯にして此一生を學び之を世に紹介するは世人の心に絶倫優大の品性の光明を宿らしめ、之を慕ひ敬ふの念を起さしむる所以にして是れ實に「人の爲す所の最も良き奉仕」なり。更に又只歴史上のイエスに於て他人に證明するのみならず、今も尚生きて吾人各個を親愛し、慰勵者となり敎師となり、朋友となり、特に靈の救主として、吾人の品性を高上せしめ、吾人の理想を進歩せしめ、私心私慾を棄てゝ愛と眞理とに依り歩み進ましむる神の獨子に就て自個の實驗を語り自個の信仰を告げ自個の確信を世人に告ぐるは世人のための大なる救ひにして古往今來の人々の求めて止まざりし神の恩恵にして「爾曹が見ることを得る其眼は福なり、我れ爾曹に告ん、多くの豫言者及び王も爾曹が見るところの事を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

見んとせしかども見ず、聞かんとせしかども聞かざりき」とは實に事實なり。然らば則ち姉妹方の此事に就ての證明は實に世に大なる奉仕をなし、廣く人類を生かしむる大切なる道にして姉妹方互ひに品性と理想との進歩發展を得る力たるなり。更に又日曜學校の生徒にイエスを愛し之れに仕ふることを得せしむるは實に貴き業なりとす。

然れば今茲に、姉妹とともに吾人の迎へつゝある聖誕祝會は實に意味の深遠なるものにして又吾人は之を迎ふるの特權あり且大なる責任あることを自覺し、是を祝する所以の意義を明かにせざるべからざるなり。

講壇

「神自ら汝等を愛す」

エチ、エレザエット、ルウイス

同氏はウエルス會衆教會の牧師にして、文學上に貢獻するところ少なからず、名聲高き人なり。此に掲ぐるは同氏の說敎の大意にて直接クリスマスに關するものにあらざれども、基督出世の目的の一端趣味深く說きあればクリスマスの意義を考ふる上に益するところ多し。

耶蘇は野外に於て「神世を愛す」と云はれた。而うしてエルサレムの樓上に於ては「神自ら汝等を愛す」と云はれた。前者は造物者たる神が其の造れるものに對する愛を說き、其の愛の限りなく無條件なるを述べ、價値なきものをも其のうちに包括せらるゝことを語られたのである。約百が半ば推量り、半ば嗚咽しつゝ「神よ汝の手の工には意匠あり」と叫ぶに至らしめたものは此の愛である。基督に於て其れは然りとなりアメンとなり「我等によりて神の榮」となつた。然かし造物者たる神の愛は之を父なる神の愛として受け容れられるときに一層深くなる。宇宙的のものが個人的になる。大洋の中央の波濤が磯打つさゝれ波となる。

更に注意して見ればヨハネは愛の二つの階段に向つて二つの異つた語を用ひて居る。初めの方の語は一般的の愛を意味し、樓上に於て用ひられた語は最も親密な間柄の愛を意味して居る。基督がペテロに向ひ「汝我を愛するか」と問はれた愛は一般的の愛であるが、ペテロが「我が汝を愛することは汝知れり」と答へた愛は一層深い性質の愛である。世に對する神の愛は境界線若くは新しき出立點とも云ふべきものである。此の點は最も輝き且つ最も儼なる語、即ち「何人にも」に係るのである。此の愛の洪大なることは人間の運命の重みに比例する。其の愛が滅ぶると信ずるてなく、益す裕かに增し加はることを信ずるのである。「汝等我を愛し且つ父より我が來りしことを信ずるが故に、父自ら汝等を愛す」。(約十六〇廿七)

基督が神日を照らし雨を降したまふことを敎へられたのは、神の愛の眞實である。日は善人に於けるが如く惡人の上

にも温和に照る。春の雨は義人の畑に於けるが如く不義なる人の畑にも實を結ばしめる。收穫の時の束は相等しい。然かし雨者の間に全く異なるところはないか。日光、雨、收穫の後に惡人の心は只之を刈り集めるのみて其外、何んにもしない。然かし善人の心には之を刈り集めたのちに更に感謝と敬虔の思ひを新に收穫する。神の日光は義人の靈魂を新しく照らした。其の祝福の雨は之を濕ほした。天の使は之を刈り取り聖なる哉聖なる哉と歌ふてあらう。惡人の心は收穫をしたけれど、神の愛を拒んだ。之を拒むが故に自ら貧しくなるのみならず、之を殺して了うのである。善人の心は二重の收穫をなし、更に大いなる愛を要求するに至る。

世の凡ての人を照らすものは光てある。人は神の愛のうちに包まれて居る。然かし濃い影を來すものも光てある。神の愛に包まれながら、人は其の愛を遮り、之に妨げ、之を拒む。六月の曙に人は此の日光が我が爲めてあるかと云ふものはない。之にも增して神我を愛するかとの問を發するものはない。斯る問ひは永遠に答へられて居るのてある。其の答へを待ちつゝある他の問ひがある。其の問ひは我は神の愛に對して何をして居るかてある。耶蘇基督は樓上に於て『汝等我を愛し、また我父より來りしことを信ぜしが故に、父は自ら汝等を愛すべし』と云はれた。彼は世に對して最も喜ぶべき音信と最も恐るべき警告とを一つにして云はれた。

此の愛のうちに凡ての損傷に對する特赦、凡ての完全なる智識の保證、凡ての恩惠の豐富が含まつて居る。

『神自ら汝らを愛す』。然らば何故神の子供らは失敗や、苦痛や、煩悶を屢ば忍ばねばならぬか。基督も此等のことを忍び、其の味ひを嘗められた。而かも斯る時に之を忘れたまはなかつた。『誠に〳〵我汝等に告げん、汝等は悲しみ嘆かん、されど世は喜ぶべし』、されど尙ほ『父自ら汝等を愛す』と云はれた。父の愛するものどもは其の父の世界に於て屢ば其の愛を拒むものよりも一層辛い目を見ねばならぬ。辛い目といふけれど、惡の最も輝いたる財產や、世の最も愛すべき快樂が、父自ら我を愛したまふといふ思想と何うして比較にならうぞ。サムエル、ルウサアフォルド曰く『神の愛は好きだとか、之に溺れるとか、道理無しにするとか云ふことはない。否な其の小供は屢ば氷つた冷い丘の上を歩まねばならぬ。また棘のなかに裸足て座らねばならぬこともある。彼の愛の眼は明かてある。其のやうな時にも常に見て居られる』と。父の愛に滿ちた馬槽は之なき帝王の冠よりも更に安全て且つ富貴である。

約百が財產は皆な奪はれ、其の子供らは皆な殺され、其の健康は全く害はれ、其の家庭は悉く破壞されたときに、何んの安んずるところがあつたてあらうか。神は此の場合に『我が僕約百、……我を受け容るゝもの』と云はれた。父なる神が我がものと呼ばるゝ人は外に羨んだり、悲んだりするものを有たぬ。其の運命が何うあらうとも、彼は愛を有して居る。イサクは祭壇の山を遙かに見たときに、家に殘された他の青年よりも其の父の愛が薄くなつたのてあるか。柔和に携

へて行つた薪の下にイサクが跪んで居たときに、父の心は益す殘忍になつたてあらうか。否な彼は『汝（アブラハムのこと）の子、即ち汝の最も愛する獨子』であつた。其の時ほど深く父に愛されたことはなかつたてあらう。神の小供等が犧牲の丘に重荷を負ふて旅する時ほど、神に甚だしく貴ばれることはない。神が彼等の祭壇を築く木を運び行くを見られるときは、丁度カルバリイに於ける愛する子を再び見られるのてある。『此の故に汝等今悲めり。』然れど愛は悲哀の過ぎ去つたときに宿るてあらう。

『神は自ら汝らを愛す』。眞理の未だ明かにせられざる面積については如何てあらう。世の敎師としての耶蘇の誠實なることは此にも現はれて居る。彼は遠慮なく最後の語の語られないことを告白した。然かし彼はまた恐るべき將來を有つて居らず、曖昧に云ひ濁らさねばならぬやうな秘密でもないことを宣言して居る。『我此等のことを譬諭を以て語れり』。されど譬諭は一時的てある、敎練の爲めてある。『我父のことを明かに語るべき時來らん』といつた。然かし我らは屢ば譬喩の時代がまだ過ぎ去らず、明かにせられた時代は來ぬやうに感ずる。が基督は其れに就いて決して心配せられぬ。其れよりも大いなる智慧がある。譬喩や格言よりも超越したところの愛がある。蝶の羽が出來たときに蛹の外皮は落ちる。斯の如く靈魂も其の翼が光明の天地を飛び廻はるに適するときに、譬喩を去つて目の前に見るに至るてあらう。『父は自ら汝等を愛す』。故に彼は汝等を傷けぬてあらう。『小供らの進歩に隨つて柔かに導かるゝてあらう。其の啓示は我等の思想を待ち、其の光は我等の視力に隨ふてあらう。

我等の祈りについては如何てあるか。祈りの答への最も大いなるものは愛其のものてある。『汝等若し何事にても父に願はゞ、父必ず我が名に於て之を汝等に與へらるべし』。基督に於て祈ることゝは、父に祈るよりも更に大いなるものがある。何となれば其れは基督の精神を以て祈り、彼が自ら祈るが如くに祈るを意味するからてある。然かし彼が『我汝らに告げん、我汝らの爲めに祈らん』と云つたのは何う云ふ意味てあらう。仲保者が仲保せぬてあらうか。勿論然うてはない。然かし彼の仲保は我等が祈ることを怠つて居なから之を蔽ふて貰ふと云ふやうなことてはない。彼の祭司の職權として我等を非祭司的にさせてはならぬ。彼は眞正の祭司てある。彼は祭壇の薫ばしき匂ひのうちに自らを隱して居る。僞りの祭司は自分の名を高くし、自らを現はすことに努め、自分が好く見られる爲めに聖禮典や敎會を利用する。彼は自ら祭壇の前に立つて之を隱し、他のものが之に近づくことを禁める。然かし父の一人の祭司は自らを隱された。然らざれば外の小供らが自由に來ることが出來ぬからてある。彼は彼等が祈り得るやうに祈られる。彼は代表者てある。然かし父の前に立つては居られぬ。『神の右に座す』とある。小供らと父との間ではない。彼等が近く進んだときに彼等に向つて居られる。我等は祈りの答へのあらんことを望む。然うして或時は多くの感知し得る答へを見ないところから信仰を墮すことがある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

然かし基督は父自らの愛は其の答へのうちの答へてあると敎へられるてあらう。放蕩息子は履や上衣や指環などの贈物を得て其の旅行や祈りが成功したと思つて自ら滿足して居たてあらうか。斯の如きものよりも更により好いものは父の接吻てはなかつたか。

說苑

家庭のクリスマス

本多貞子（談話）

歲將に暮れんとしてクリスマスには餘日もないことになりました。クリスマスに歲暮、引き續いて元旦、此の三つの年中行事は其の性質といひ季節といひ私共に何物かの印象を遺さないては通り越すまいとして居るやうてある。其の中殊にクリスマスは、私共の生命の源てある主耶蘇の誕生を紀念する日てあるから、之を等閑にしてうつかり新年を迎へるやうなことがあつては、たま〳〵迎へた新しい歲も眞の生命の涸れ果てた空虛なものになつてしまう慮がある。然らば何うして此のクリスマスを迎へねばならぬか。如何なる心構を以て之を紀念し之を祝ふたならば私共に取りて最も有益てあらうか、私はこんな問題と外にも少し承はりたいことがあつたの

て一日本多庸一先生の夫人を青山學院構内の私宅に訪ねた。校舍の後に當つて西洋人の私宅と並んて古びた日本流の二階建がある。周圍の生垣も梢を伸ばして其の自然なる成長を樂むが如く、庭園の風致又自から主人の物に拘はらない性質を語つて居る。主人本多庸一先生は頃日健康ままならぬとかて大磯の少し先の方に轉地保養して居られると聞いた、玄關に立つと取り次ぎの煩もなく夫人親ら出て來意を問ひ「今日は大掃除て大變取り込んて居ますけれど御差支へなくば」と云つて十疊ばかりの一室に導かれた。挨拶早々クリスマスを迎へる御心持を尋ねて見た。五十の坂を超えて六十路にも程遠かるまじき年配、身の周圍は稍や古びた木綿物づくめて物の言ひぶり、身のこなし、總てが謙遜て又寛りとして居らるゝ、別に申し上ぐることも御座いませぬか」と言つて徐々に口を動かさるゝ。

「此の間學院の舍監から、貴方が保證して居る學生の某は缺席が多くて困ると云つて參りました。此の學生の保證人に立ちましたのは親から依賴せられたからなので、未だ直接に此の人の性質やなんかを識る機會は無かつたのてず。此度突然舍監の方から注意を受けて實は驚いた位なんてす。まだ性質も識らないのてすから如何いう風に處置したならばよいかも解らず、初から叱る譯にも行かず、まあ一邊會つて見やうと云ふつて子供を呼びに遣りまして會つて見ますと大變温順しさうな人なんてす。それて種々信仰上の談など致しまして、基督が此の罪の世に降つて罪人を救ひなされた生涯の貴さて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とや我等は世の光地の鹽であるからいくら周圍に悪ひ友達が在つても其に感化せらるれてはいけない、反つて彼等を導かねばならぬこど等を申し諭したことてございます。私は人樣の子供の保證をして居ながら今迄其の人の性質も識らないでうつちやつて居たことと、神が罪ある人間を一人一人救はんがために其の獨り子をも惜まずして悲慘なる境遇に置き給ふたこととを考へ合せて自分の足なかつたことを切に感じて居ります。このまあ罪ある足らない人間を救うとして神の獨り子が世に御降になると云ふ何と云ふ御愛心でしやう。此の不思議な喜びの音づれを紀念するクリスマスは昔から毎年毎年一度づつ迎えるのであるが何時も新しく感ずるのですよ。私はクリスマスを祝ふとともにクリスマスに表れたる神の深き御愛心を悟り自から顧みて少しにても基督の精神を我が精神として世に立ちたいと心掛て居ります。

『家庭に於けるクリスマスの御祝ですか。大變結構でございますねえ。宅でも爲つたことがありましたが近年は敎會の方に費用等を出すものですからさう二重に爲る譯には參りませぬ。敎會の方の御祝ひはそれは盛ですよ。女學院の講堂でも盛に御祝を致します。遊び方は對話や暗誦や唱歌が主です。豫科や普通科の少い娘さん達のはほんとうに見事ですよ。

「はあ若き婦人の男子に對する心得ですか、餘り究屈にすぎるとよろしくないと存じます。所謂箱入娘にして置くと男子を鑑識する眼が無くなりはしないでしやうか。其がために一度男子に接すれば縱へ相手が男子としては普通の人或は普通以下の人であつても女の眼子には非常に偉らく見ゆるやうなことになつて、自然良人たるべき人を撰む能力が無くなる慮があるやうてす。

「結婚をする前にはどうしても半年か一年の間よく交際をする必要があると思ひます。交際もしないで互によく識り合つて居ないで結婚すると、よく折合のつかぬ家庭か出來てしまうやうてす。勿論交際をすると云つてもただ自分勝手にするのではなく、親の許を得た上て適當な所でするのは解りきつたことだと思ひます。』

是より餘談に移つて、本年の文部省の驗定試驗では女學院から四名の英語科合格者を出したとことと先達評判になつた學院の墮落生に關する新聞紙の記事は針小棒大であつたこと、然し其がために生徒も敎師も彌々しつかりなつたこと、殊に米國から來て居る女敎師等は無暗に心配して居ることなどを聞いて席を辭して蹄つた。(K)

明治の女子の心得

井深花子(談話)

若き婦人の男子に對する心得に就いて、女子敎育に關係ある都下數十名の敎育家が協議懇談したる結果十ヶ條の決議文が出來た。新聞紙は之を「可からず十訓」と稱へて普く世人の注意を乞ひ、或は種々の批評を加ふる者もあれば甚だしき

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に至つては嘲笑罵詈を浴せかけた者もあつたやうである。十ヶ條の正文を見るに皆結構なことばかりて一つも非難を打つべき點はないやうである。が斯んな當然なことを教育家の決議文として世に發表するに至らしめた若き男女の禮儀節操の廢頽は實に悲しむべく又憤るべきことてある。世の光たり鹽たるべき者は如何なる手本を示して若き男女の則るべき軌範となしたらばよいてあらうか。記者は或日井深花子を芝區白金の宅に訪ひ、十個條の決議文にあることや其の他若き婦人の心得べきことを尋ね、種々有益なる御話を承りたれば、記憶に存するままを左に紹介することとしました。

▲若き男女の訪問『或る新聞では、委員の中には歐米に行つて來た人も多いやうであつたがとう／＼復昔の女大學的の女訓を決議して了つたと云つて居りましたが實は歐米に遊んだ者てこそ彌々斯んな決議文でも出して世人を警醒せずには居れなくなると思ひます。或る人は今日の男女の交際に禮儀が頽り社會の制裁が弱くなつて居るのは西洋風であるから當分致し方がないと歎じて居るさうてあるが此は非常な間違てある。西洋では若き男女の交際が甚だ自由てあるかの如く云ふ人もあるが實際に立ち入つて觀察して見ると眞に嚴格なもので、男女七才にして席を同じうせずと云ふやうな日本の昔の習慣と餘ほど似た所が多いやうてあります。彼方ては若き男子が若き女子を訪ねることはあるが女子の方から男子を訪ねるといふとはない。まして下宿等に居る男子を訪ねるやうなことは決してしない。若し訪ねた女があつたとすれば其の人は最早交際社會の除外者となつたと同然であります。男子の方から訪ねた時も其の面會時間は至つて短時間て五分か十分長くて十五分を超ゆることはありませぬ。東京の女學生には國元の兩親から、何區何町の何と云ふ下宿屋に居る村の某君に宛て品物を送つて置いたから受け取りに行きなさいといふやうな手紙をもらつて止むなく下宿屋に居る男子を訪ねることがあると聞きました。何うしても父兄の方に今一層過を未然に防ぐ注意が必要であると思ひます。

▲若き男女の面接『決議された十ヶ條の中に、病室にて男子と面接することとの失禮なることと及び品性を傷くる虞あることを注意した箇條があります（第八條、病室にて男子と面接するは禮を失するのみならず自己の品性を傷つくるものなれば最も注意を要す。其の他凡て誤解を招き又は間違を生ずべき虞ある場所には近寄るべからず）。此の個條は削除した方がよからうと云ふ說もあつたやうですけれど、矢張り在つて然るべきことだと思ひます。婦人が病室に臥て居るのに男子の見舞客から直接病室に這入つて來られてはこれ程困つたことはありませぬ。曾つて神戸に居ました時分一寸した風邪で臥して居ますと男子の教師等が態々臥して居る所まで見舞に來て下さいました。御好意は誠に辱けないのであるが此な場合女子は反つて迷惑で氣が氣ではないのです。西洋では病人に看護人を附くる必要がある場合には男子の病人には男子の看護人を附け、女子の病人には矢張り女子の看護人を附けます。そして非常の場合の外男子の見舞客は一切女子の病床に近づ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くことをしませぬ。我が國にも斯んな習慣があるやうにしたいものであります。幾多の青年男女がこんな場合からして一身を過まりつつあるやうに聞きますから、男子の方にも充分注意してもらつて病室では男女互に面接しない風に致したいものです。啻に病室ばかりでなく普通着更へをする場合、朝や夜の寐卷の儘の姿の時等男女互に他人の目を避くるやうに心掛たいもので、殊に女子は此の邊一層の注意が肝要であると思ひます。西洋では實に此の點が感心によく行はれて居て少しも嫌な思をすることがありませぬ。彼方でも女同志ばかりの時は隨分寛いで談話もするし、行儀も自から緩かになり、寢卷に着更へる時もストウヴの傍に持つて來て一所に暖めて着るといふ風でありますが、若し其處に十二三歳になる男の子でも居れば女子は決してそんなことは致しませぬ。家の男子が外に出て女ばかり家に留守して居るときは寢卷姿で跣足のまま二階の寢臺から降りて來るやうなこともありますけれど、若し子供でも男子が一人あれば左樣には行かないので、ちやんと衣を更め御化粧を濟してスリッパアスでも穿いて降りて來るのです。男子の方にも亦ちやんとした習慣があつて、例へば自分の姉妹の寢臺の前を通るにしても若し其處の戸が少しでも開いて居たならば他方を向いて通り拔けると云ふ風であります。日本では女が男の居る所で着更などしてはいけないと思つて別室に避くると男の方で何をするのと云つて後を追けて行くやうなことがある位であるから女子の方でも實に困るのです。彼方では斯んなことがないのであるから女の方に益々責任が加はるやうな譯で一寸男子と面會するにも實に氣骨が折れます。當りまへ在るべき所のピンが一つ外れて居るのを氣付かないで男子に面會し、後て其の事が氣に付くと女は非常な不名譽なこととして耻づるのです。其の他男子の前で話してよきこととよくないこととの區別が男女交際法の重大な禮節の一になつて居るものですからうつかりしたことは話せませぬ。例へば胸から下に關はる病氣の如きは互に尋ねもしなければ又告ぐることもしないのです。手に手を執つて公園邊に散歩すると云ふこと等を聞きますと如何にも若き男女の交際が自由で無制裁であるやうに思はれますが其の内情に立ち入つて觀ますと夫は夫は嚴格なものです。啻に他家の人に對する時のみではなく自分一家の内でも男女の禮儀は實に嚴格であります。女の兄弟ばかり居てコオチに横になつたりソファにもたれたりして居るとき御父樣の足音でも聞ゆれば互に注意して行儀正しく椅子に腰掛けると云ふ風です。此はあながち御父樣が御出になつたからと云ふのではなく男子が來たからなのです。西洋の婦人は男子の前と云ふことに非常なる注意を拂つて居ります。それから彼方でも家の拭き掃除は女子のすることになつて居りまして男子の室も皆掃除するのですが、男子が居る時は決して其の寢室に這入つて掃除を爲ることはあまりせぬ。水を換へるにも紙屑を棄つるにも皆男の居ない時にするのです。男は又自分の姉妹の寢室に這入ること等は假にもしないのです。だから斯んな習慣、禮儀の行はれて居る國の人で、初て日本のやうな國の露き出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しな習俗を見ると喫驚してしまうのです。先年或る米國の女の先生が日本朝鮮支那等を巡遊して歸られたとき、一番驚いたことは何でありましたかと尋ねて見た處が先生の云はれるには、日本に行つて日本人から紹介狀を貰つて朝鮮の釜山の普通の旅人宿に宿泊して居た時、丁度着更をして居る最中に二人の男子が自分の室に這入つて來て、然も氣の毒と思ふ樣子も見えず恥しいとも思はず平然として居つたには喫驚せざるを得なかつた、生れてから斯んなに困つたことは從來なかつたと話されたことがあります。此の二人は紹介狀の宛人である日本人であつたさうです。

▲憚ある言語動作「彼方では又便所に行くのに他人の目を避くることが禮儀の一となつて居ります。大な聲で便所は何處ですかなど云ふのを西洋人で少し日本語が解るやうになつた人が聞いたならば非常に困つてしまいます。彼方では大きな家やホテル等には寢室に一つづつ便所が附いて居るから少しも心配はないが、小さい家では甚だ面倒です。田舍の家では大抵便所は別に一軒建てゝあつて本家と便所との間には物置小屋があります。そして男が其の邊で薪等を割つて居る。こんな場合其處の娘が便所に行かうとするときはそつと首を出して其の男の方を見る。そうすると男の方では氣をきかして外に出てしまうと云ふ風であります。敎會に便所のある所は甚だ稀て、辻の共同便所など勿論ありはしませぬ。フエリス女學校の或る米國婦人は、共同便所を廢しない限り日本は未だ野蠻の狀態を脫しないと云つて居ります。何卒日本の若き婦人が魁となつて、公前人の前に云つて憚あることは成る丈け口に出さぬ習慣をつけ、便所に入るやうな事でも人の目を避くる位の優雅な風習を涵養し、引いては辻便所までも取り去らるゝやうにしたいものです。

▲結婚準備「米國では敎會の祈禱會等に若き婦人が一人で出席したる場合には閉會後、未だ家を成して居ない男子が其の女を家まで送り屆ける義務があるのです。若し男子が彼の女を識りたいとか、少し意が在るとかすると斯んな場合を利用して其の女を家まで送り屆ける、勿論無暗に送り屆けてやるのではなく、爰は所謂米國風で、一所に行つてようございますかと云つて承諾を得た上で同伴するのです。そして途中で種々禮を失はないやうな話をして互に識り合ふやうになる。又女子は男子にクリスマスの贈物を送ることは無いが、男子は或る女子に意があれば贈物をする。斯んな風で言はず語らずの間に男子の意が解つて來る。そこで若し女の方で、あの男は嫌だと思ふと、成る丈け其の男を避ける工夫をして、集會等にも容易に出ない、若し出るとすれば適當な同伴者と一所に出て非常に謹嚴を保つて居る。男の方でも其を悟つて交際を絕つて了うといふ風である。之に反して女の方を男が嫌つて居る場合には、成る丈け其の女を家に送り屆けなければならぬやうな地位に立つことを避けるやうにする。敎會の祈禱會に其の女が一人で來て居れば男の方は閉會まで居れば其の女を家まで送り屆ける義務があるから中坐してしまうと云ふ風です。こんな風ですから未だ意中を打ち開けない前に不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

言不語の間に先方の意が解ることが出來て禍を未然に防ぐことが出來ます。又男女再方とも先方に意の在ることが解れば父母や父母のない者は保護者に此の事を打ち開けて其の決議を受くることになつて居ります。父母が彼の人は確實な人だから交際して見たらよいだらうと云ふと交際をする。彼の人へはどうも宜しくないから交際しない方が得だと云ふと其の言に従ふのです、中には父母の許を得ないで交際して居る男女も少しはありますが其んな人は不注意な又道ならぬ事をすると云ふので人から指彈さるゝのです。父母の許を得て交際して居る間に互の思想や趣味や性質等が識れ合つて來る。愈々此の人ならと云ふ確信が出來た時に男の方から正式に結婚を申し込む。女は其を父母に相談する。父母が許を與ふれば茲に初めて兩人は許嫁の身となるのです。

▲許嫁の生涯　日本では許嫁となれば如何な處へでも兩人で行き互の訪問も自由で如何な遊びをしてもよいやうに思ふて居るが米國では決してさうではありませぬ。同じ村同じ町の内ならば散歩するも自由であるが町外他村に行くとなると必ず尊敬すべき同伴者を要する習慣になつて居ります。其の同伴者は大抵女の方の先生か或は親戚を選むことになつて居ります。決して女中等で濟ますことはありませぬ。日本では自分さへ潔白であれば他人が何と見やうとも少しも構はないとよく云ふ人がありますが米國では他人に見ゆる處をも非常に氣にするのです。禮儀作法と云ふものは固と皆自分の裡にあるものを外に現はす所のものでありますから禮儀作法を重ずるならば自分一個の良心のみに滿足することは出來ない譯であります。それから彼方では許嫁の間は決して同じ屋根の下に宿泊しないと云ふ習慣になつて居るものですから、例へ親戚の間柄であつても許嫁の女の家に宿ることをしませぬ。此に就て見聞した所を申しますと、私が寄宿して居ました家に二人の女がありまして長女が親戚の男と許嫁となつて居りました。或る日其の男が訪問して話をして居る間に俄に暴風雨となつて、待てども待てども晴れそうでない、夜の十二時に成つて少しも變らないものだからとう／＼女の父が、こう暴てはとても歸れない、歸れた處で怪我や病氣をしては困るから今夜泊つたらよからうと言ひ出した。男は如何にも良心に對して濟まぬと云ふ様子であつたが止むなく泊ることになつた。私の室は二階に、娘等の室と客室との間に在りましたから娘等が言ふには、甚だ御氣の毒であるが今夜下に降りて寢てくれ、私共も皆下に寢るのだと申しまして、成る丈け客の男に知られないやうに蒲團などを下に下して其の晩二階には其の男一人を寢かしたのであります。斯んな風で米國の品位を重ずる家庭では實に男女の間が嚴格になつて居るのです。若し此の習慣を破るやうな許嫁の男女があつたならば親しい朋友でも其の結婚式に列席することを拒むと云ふやうな社會の制裁があるのです。

『申し上ました事は重に米國に於ける若さ男女間の禮儀作法に關することでありまして私共は一々之を摸倣せなければならぬと云ふ譯てはありませぬ。然し日本の昔からの禮儀は

一一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

之と大に似た所があるやうに思はれます。其に彼方のは基督敎の道德を基礎として起つた禮儀でありますから私共は大に之に學ばなければならぬと思ふのです。今日直に之を其の儘日本に當て嵌めると云ふことは出來兼るものもありませう。例へば良人となるべき人を選むにも西洋では男女交際の機關が備はつて居て社會の制裁も嚴重であり個人の道德及び習慣も確かであるから自由に又禍なく男子を選むことが出來るのであるが、日本では悲しいかなまだ／＼社會の狀態から云つても女子自身の敎育見識から云つても自から直接良人を選むと云ふことは不可能であると思はれます。約婚をなすにも媒介者を要するのです、今日は廣く世界を相手に交際せなければならぬ時でありますから敗を取らぬやう男女相助けて立派な風俗習慣を造り出したいと存じます。聞く所によりますと彼の十個條の心得は男子を悪人と見た、如何にも男子を侮辱した處のものであると言ふ人もあるやうですが決して左樣なものではないのです。彼はただ當然なことを書き並べたまでのものであつて、女子が魁となつて此の當然な事の實行を勵んだならば必と男子の方でも之に合して立派になるであらうと云ふ考から出來たものと思ひます。」（K）

歐米婦人が余に與へたる印象

丹羽淸次郎（談話）

▲瑞典の婦人　余が歐米に旅行したうちで婦人について觀察することの出來たのは瑞典の學生大會の席上であつた。余の目に映じたところを云へば、瑞典では男女の交際が比較的理想的に行はれて居る。米國のやうに殆んど女尊男卑に傾くことなく互に同等の尊敬を以て親しく交つて居る。男女學生が互に相混じて講堂に出入する、また彼等の特長なる合唱もやる、實に親しい風が見える。然かし男子が女子に對してへい／＼して居るやうなことはない。且つ婦人の動作が中々優しい、年若の女子が中年の人に對して挨拶する時、互に握手する有樣が頗る優美である、宛から古の宮中の光景を芝居などで見るやうな挨拶振りの變化とでも見ゆる樣に片足を前に進めて後足をかがめて握手する風がある。小供なども其のやうな挨拶をする風がある。婦人の衣服は昔から一種の型があつて、歐米諸國では見ることが出來ない。然し市內では之を見るとが出來ないが田舍に行くと之れを見ることが出來る。帽子の先が突つた冠の如く、裳は短く胸に赤い飾りがある。一寸珍しくて美しい。同國では男女混同敎育が行はれ、婦人の地位の高いことは明かである。

▲丁抹婦人　余がコウペンヘーゲンに於て宿つた家の妻君は純粹な丁抹人で、其の風俗も純丁抹式であつた。其の家庭に入ると宛がら日本の家庭に這入つたやうな心持で、優し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く且つ良人に對しても甚だ丁寧であつた。然るに數年間米國にあつて敎育を受けたものであつたといふ實妹が此所に一緖に住んで居たが、其の動作は全く米國式で姉とは全く反對であつた。其の對照が甚だしかつた。家婦は客に對しても腰が低く、外出するにも男を先きに立てる。然るに妹の方は自分が先きに出て丁ふと云ふ有樣であつた。

▲獨逸婦人　獨逸で余の目に映じたところは、婦人の地位が日本に似て居ることであつた。主婦は必ず家の萬事を遣る。其の一例を擧ぐれば男が針などを持つて居ると下宿屋のやうなところでも其れは女のすることだからとて取り上げて自分がしてくれる、妻は良人に事へる。且つ一體に米國や倫敦邊などに比べると餘程質素で儉約である。或る敎育もありゆたかに暮して居る家庭に行つたところが、下女を置かないで、主婦の指圖に從ひ其の子女が臺處のことを遣つて居る。彼等は皆な英語を語り、立派な敎育のある者である、が其の實に好く勞役くのには驚いた。之を以て見ても獨逸婦人の質素勤勉なるを知ることが出來る。獨逸で非常に感じたことは、女が多いからでもあらうが、日本にも見ぬやうな勞働をすること、鐵道の轉轍夫の務めをして居る老女があること、ステーションなどで小荷物を一時預るときには隨分重いものを其の掛りの年若い女子が取扱つて居ること等であつた。勿論此の國に於ける女子敎育は十分行はれて居ることである。

▲瑞西婦人　瑞西に入ると其の國柄に隨ひ獨佛英の三ヶ國の語に通ずる婦人が多い。大會などには英語で演說する婦人もあつた。婦人は大抵昔風の着物を着て居る。胸と背とに銀の飾りが着いて居て、一寸目新しく美しい。

▲佛國婦人　佛蘭西に行くと汽車の内外に怪しげな婦人が白粉を塗り、眼を大きく見せる爲めに其の圍りを黑く塗つて居るハイカラ婦人が出入するのを見る。社交的な、若くは惡い評判のある連中が多い。然かし一方に於て佛國婦人は中々勤勉で、金の貯蓄には餘程心を用ひて居る。家でも店でも能く勞働き、金については中々勘定高い。下宿屋の主婦が勘定書を出す時には英米には見られないやうなこと、即ちマッチ代とか蠟燭代とか瓦斯代とか細かに書き込んである。公園などに行くとベンチに腰を掛けるのに一回一錢づゝ取られるので、一家族のものは輕便な椅子を携へ、腰辨當を持つて出かける。其れて其の婦人は決して下等の家のものではないのである。

▲英國婦人　旅行中最も好い感覺を與へられたのは英國婦人であつた。其の美しさから云へば、華美な飾りをなし、流行の源となつて居る佛國婦人に劣るけれど、上品と云ふ點からは英國婦人は數等上である。例へば白粉などを塗つた婦人は中々見受けなかつた。其の容子が何となく上品で、言語も男子に對しては實に丁寧である。故に英國婦人に對しては自然尊敬の念を生ずる。レストラントに行つて食事をするときなども丁寧に誂を聞く。そうして丁寧にThank youと云ふ。男女の間は甚だ嚴密である。余の知る日本の青年の如きは其の下宿せる家の人々と親しく交はり、其の娘などと時々音樂會

などに一緒に出かけるともあるのである。然るに娘が只だ一人で其の青年の室を訪ふとは決してない、勿論公けの席や、公園などには男女互に親しく手を取り合ふて行くこともあるが、男一人居る室に這入ることは決してない。英國學生大會にても男女は席を別つてあつた。然かも女ばかりに好い席を與へるのではなかつた。之を見ても英國風が解る。又英國の好い家庭には日本人などは容易に交ることが出來ぬ。然かし之は交際して差支へないと認められるときは己が家族の一人の如く取扱つてくれる。余の知れる或る青年の如きは其のやうな取扱ひを受けて居る。然かし一朝疑はしい事があれば再び言を交へない様になるのである。それから英國婦人のうちには信仰の厚いものが多い。余が瑞西に於て世話になつた英人と一日英國敎會に行つたことがあるが、祈りや歌などを心からする。そして尊い文句などのあるところに來ると肅しく腰をかゝめた、余は大いに敎へを受けたこととてある。

▲米國婦人●●●　米國旅行中若しノルスフヒルド及びシルバアベイの青年會大會に出席しなかつたならば、余は米國婦人の好いところを見ずして歸つたかも知れぬ。兩所に來て居たものは大抵ボストン、ニユウヨルク、モントリオなど最も好い部分の婦人で、態々ムウデイの遺訓を聞きに來たやうなものであるから、性質も好く擧動も穏かであつた。然かしシカゴから西の方、桑港邊にて受けたる米國婦人の印象は善くないことが多かつた。女尊男卑の有様が目立つて、日本人などから見れば何うも米國男子が氣の毒で堪らないやうであつた。

汽車中一夫婦に乗り合せたが、朝夕の食事の爲めに亭主が彼等の世話をする、靴の脱ぎ着きもしてやる。亭主が座つて居るところへ妻君が遣つてくれば自分が立ち上つて之を座らせ其の樣子が凡て僕のやうである。またモンゴリヤ號で歸るときも、余は友人とともに社交室の一隅で讀書して居た。ところが二三の米國婦人が遣つて來て、カアドを弄ぶからとて席を奪ひ取るやうな無禮なことをしたこともある。米國の男子は之を好いことと思つては居ない。先きの亭主も私のところに來て、米國に困ることが二つある、小供の生意氣なことゝ女の威張ることゝであるといつた。是れは確かに米國の女子敎育の弊と思ふ。此間チヤプマシ博士一行の一人が來て米國の悪い點を遠慮なく云つて呉れよといふたので、余は其の一は女子敎育の弊、即ち女尊男卑の風、次は餘り突進する爲め舳艫が揃はぬやうだといつた。すると其の人は大いに困つて居たが、眞正の米國人は然うでない、悪いものを見たから然う思ふのであらうと云つて居た。日本の婦人が米國に行つて其の善い人に交り善いところを學んで來ればよいが、然うでなければ大いに害があると思ふ。外國宣敎師のもとに敎育されて居る女學生などは餘程注意せねばならぬ。余は英國の婦人を先づ理想とすべきでないかと考へる。獨逸は幾分か女子の地位が卑く過ぎるやうに思はれた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

慈善家エリザベス・フライ

白井生

富貴なる家庭に成長して奢侈に慣れたる女子が、身を献けて世から擯斥された犯罪者の爲めに盡したり、又は苦み嘆いて居る同胞の爲めに骨を折るといふは容易な決心では出來ぬことである。エリザベス・フライの傳は、色々の點に於て教訓に富んだものである。彼の女は千七百八十年五月三十一日英國ノルウイッチに生れた。其の父はジョン、ガルコイと云ふ富める倫敦商人で、氣高い品性を有し、且熱心なるクエカア派の信者であつた。其母は容貌も美しく、常識に富み親切で同情深く、其上に信仰厚く模範的の母と稱せられた。七人の女子と一人の男子とあつて、エリザベスは其第三女であつた。

エリザベスは優しい性質で、寧ろ神經質な方であつた。然るに父は十分其の性質を解せず、動もすれば其の教訓嚴に過ぎて感覺の鋭い彼の女の心を苦ませたことが多い。父は嚴格なるクエカア派の人が非難するやうなことでも其の子女には自由に遣らせて居たのであるが、家庭教育に對しては一種の意見を有し、小兒らしき考へは悉く之を打ち壞はさうと試みた。例へばエリザベスが甚だ臆病で暗き所を恐るゝ癖があつたから、父は之を以て只小供の空想に過ぎないと思ひ、明いところに出ることを許さなかつたことさへある。斯の如くにして彼の恐怖心を除き、果斷にして勇氣に富めるものたらしめやうと考へた。然かしエリザベスは自ら母となつて後斯る教育を受けた爲め自分が一層神經質になつたことを考へ、自分の子女に對しては全く其の反對の方法を執るに至つたことである。

彼女は學校の教育を好み、喜んで其の課業を修め、隨つて其の成績も常に良好であつた。才智も秀で性質も美しく優く、社交にも巧みであつたので、教師にも生徒にも愛せられた。幼い頃から日記を書く習慣があつたが、是れは彼の生涯を知るに甚だ大切なるものである。

フライ家のものは衣服や娯樂其の他の事についてクエカア派の風俗に從はなかつた。女子は殊に然てあつた。ノルウイッチに居たときには流行に從つて赤い騎馬服も着れば、遊戲も舞踏も遣つた。是れは兩親が「羅馬人と共に居るときは羅馬人の如くせねばならぬ」との主義を執つたからであらう。

齡十七歲の頃彼女は一層クエカア派の風がなくなつた、華美な遊び好きな少女となつた。然かし中々獨自一己のある女子であつたから、已に一箇の見識を有し、其の日記に「我は媚を呈することを戒めざる可らず。是れ醜き性質なり。我は斯の如きものたらざらんことを望む。然るに已に稍や其の弊に陷ゐり居れり。我は次第に多くの優れたる性質を失ひつゝありと思ふ。華美と此世とを甚だしく好むに至れり。我今齡十七に及ぶ。若し或る親切にして且つ大いなる機會の我が上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に來らざりせば、我が凡ての才能は、蝕くひ銹くさるに至り、其の光輝失せ、福とならずして却つて禍となる日あらん」といつて居る。

然るに彼の望める如く大いなる變化を爲すべき機會は來た。一日ウイリアム、セヴアリイといふクエカイ派の說敎者が米國からノルウイッチに來て說敎したことがある。エリザベスも其の姉妹と共に父に伴はれて會堂に參詣した。彼等は他の年若きものと同じく其の地の上流に行はるゝ華美の裝ひをして居たが、說敎者は之を見て其のクエカア主義と相反するの甚しきを嘆き、說敎中に英國の會友が甚だしく俗化したことを憤慨した。且つ彼は燃ゆるが如き雄辯を揮つて福音を說き、聽衆はいたく感動した。エリザベスも深く感激し、禮拜の終るまで淚せきあへぬほどであつた。父は彼女が悔改の狀を見て大いに喜び、翌朝セヴアリイを招きて食を共にした。エリザベスが眞實己が罪を悔い、心を淸めて基督に事ふるに至つたのは、其の日說敎者と相語つたときで、其れから後彼女の嗜好は一變し、基督敎的生活の趣味が解つて來た。

其の後彼女は或る點に於て懷疑論に陷り、又超越神敎の影響をも蒙つたことてあるが、其の生涯の方針を誤るには至らなかつた。彼女四十八歲のときの日記に記して曰く『十七歲にして初めて我が心に接觸せし以來、如何にせば最も善く我が主に事ふるを得べきかてふ初一念を思ひ起す事なくして、病める時も、健康なる時も、晝も、夜も、眠より醒めたることと決して無しと信ず』と。

彼女が初めて新しき生活に入らんと志したのは、其の母が病に臥したことも其の動機の一つてある。母は彼女の十二歲のときに死んだ。十六歲のとき彼女其の母に就きて書いて曰く『我が母我を最も深く愛せり。而うして母と共に步む時は、遊び慣れたる園なれど常に初めて之を過ぐるの思ひあらしめ、アダム、イブが樂園を逐ひ出まれたることなど語り聞かせたまへり。而して我は其の樂園が恰かも我等の園の如くありたらんと思ひぬ』。敬虔なる母の宗敎的感化が如何に深く彼女の心に刻み付けられたのであらうか。

十八歲のとき彼女は日常生活の規鍼を次の如く定めた。

第一、時間を決して徒費すべからず。每日幾時間かを運動に費すは空費なりと思惟せず。却つて常に之を勉むべき也。

第二、毫も眞實を誤る可らず。

第三、他人の善事を語り得るときに其人の惡事を決して語る可らず。此は憐んで云はざるのみならず、斯く感ずべきなり。

第四、何人に向つても決して怒り若くは不親切なることを爲すべからず。

第五、自ら不必要なる奢侈に決して流る可らず。

第六、何事も思慮深く行ふべし。義しきことを爲すの途極めて困難なりとも、我に力を添へたまふ只獨りの神の力を信じ、能ふ限り己が力を盡すべし。

かくて彼女は基督の模範に倣ふことを努め、病める者、苦

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

める者、貧しき者を見舞ひ、又家貧しき子女に厚き同情を寄せ、遂に彼等の爲めに學校を設くるに至つた。當初は僅かに一人の生徒であつたが、幾干もなくして七十人に增加した。彼の優しく、然かも自ら備つた氣高い容貌は、彼等を親しく引き着け、其の成功また甚だ著しきものがあつた。斯く慈善事業に着手するに從ひ其の胸中の云ひ難き喜びは、曾て樂しいと思つた舞蹈や演劇などに比ぶることも出來ぬほどてあつた。

齡二十歳のとき彼女は倫敦の豪商ジョセフ・フライに嫁した。其の家族は矢張友會に屬した。ジョセフは其の妻が慈善のことに心掛け、基督敎的事業に力を盡さんとするのを見て、滿腔の同情を表し、其の富は妻をして貧しき者、苦しめる者の爲めに十分盡すに差支へなからしめた。エリサベスは次第に子女が多くなるにも係らず、多くの煩悶せる家庭を慰むる天使の務めを爲し、又直接に傳道することもあつた。結婚後十一年にして七人の子女を產み、其の年長者は僅かに十歳て母の手を要することは甚だ多いのであるが、彼女の關係する慈善事業は益ゝ其の範圍を擴め、貧民救助事業の本部を設け、衣服、醫藥及び食物の部門を分つて其の設備を整へた。彼女が市街の裏通りを行くときは必ず二人の娘を伴ひ貧しき者に親切を盡すことを敎へた。斯の如くして家族擧つて社會的事業に同情を表し、エリザベスの聖徒的品性と慈善的勞役とは家族のものを勵まして其の思想を高め、志を大ならしめたことてある。

彼女が倫敦のニユウゲエト監獄に力を盡し初めたのは、結婚後十三年のことで、其のとき八人の子女を育てゝ居たのである。當時の監獄は男囚女囚の別なく、又犯罪の種類の如何を問はず、互に混同せしむるなど不完全極まるもので、典獄も初めはエリザベスの請ひを容るゝの意がなかつた位である。然かし一旦之が許可されて彼女が囚人と接するやうになると、其の感化實に著しく、百人の女囚中多くは最も惡むべき性質のものであつたにも拘らず、少しも彼女に侮辱を加ふるものなく、常に其の友の來るのを歡び迎ふるが如くに、彼女の來るのを喜んだ。第二回の訪問のときには只一人で女囚と交はり其の志を陳べたところが、多くは感泣して其の同情を心より謝した。かくて女囚の衣服、敎育、職業等の設備を爲し、聖書を敎へ、出來るだけ秩序的に、嚴格に、勤勉する習慣を作り、獄中に在つては順良にして平和ならしめ、出獄の後には敬はるべきものとならしめ得んことを目的とし、「ニユウゲエト女囚改良會」なるものを組織した。

フライ夫人は僅かの給金を拂ふて女囚に衣類を造らせることを建議したけれど係官は皆な之を嘲り笑つた。然るに實際之を試みると十ケ月間に二萬點の衣類を製するを得た。是れは監獄改良に於て最も著しき成功を見たもので、何れも其の變化を驚き賞せぬものはなかつた。其の報英國到るところに傳へられ、遠く歐羅巴に聞え、フライ夫人の名は天下に遍くに至つた。諸國の王若くは慈善家より其の國の監獄を訪問してもらひたいと請待を受け、遂に蘇國、佛蘭西、獨逸、丁抹、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

及び其の他の諸國に赴き、到るところ平和と幸福との天使として歡迎せられざるはなかつた。隨つて歐羅巴の監獄は著しく改良せられ、刑罰も甚しく輕減せらるゝに至つた。かく彼女が多年心身を注いで熱望した監獄改良の大いに成就するのを見て「我は心に滿つるの喜びを以て云はんと欲す。確かに是れ神の御業にて、我等の目に不思議と見ゆることなり。……自ら深く謙遜り心を落ち付け、凡ての名譽と光榮とをして其の歸すべきところに之を歸せしめよ」と云つて居る。

彼女は千八百四十四年十月十三日を以て此世を去つた。其の臨終に近づくに及び「我は之を死なりと信ぜず。是れ感覺の世界より出て、恐らくより大なる苦痛を以て、死の蔭の谷を過ぎつゝあるなり。されど此所に岩(基督)あり。苦痛は恐るべし。されど彼は我と共にあり」と云つた。かくて其の女をして以賽亞書を數節讀ましめたる後「あゝ我が愛する主よ、汝の婢を助け護りたまへ」と云ひ、之を最後の言として此の世を去つた。(なほり)

静思の友

姉妹方に修養の方法を問ふ

丹羽清次郎

悔ひ改むることに依りて義人たるを得ると云ふは所謂修養の道なり。罪人を招きて、自らの義しき行爲、深き人情に接せしめ、又高き理想に觸れしめ以て自然に進んで自ら悔ひ改めに導くは基督の道なり。山上の景色の美はしく妙へなることを聞き之を見て樂み歌はんものと險坂に攀じ、深谷を陡るは所謂修養の方法なり、敎場に於て古今の名士淑女の善行名言を講義的に說きて、不義を改め不善を悔ひしめ、以て義人善者を造らんとするは今日の敎育なり。罪を責め咎をたゞし、以て義を起し善を得んとするは普通の考なり。基督の道は然らず。總て罪ある者を自らの家に招きて之に接し、深き人情、貴き理想に觸れしめ自然に大に自らの罪を認め自らの生涯の誤れるを悟り、自ら悔ひ改むる樣に導くは基督の敎なり、先づ天然の美なる處、風光の佳なる家に招き朝夕四邊の美に觸しめ天然の妙に接せしめ、以て自然に淸き思ひと美はしき心を生ずるに至らしむるは最も勝れる方法なり。如何に人に對し親切に丁寧なるべきを說くも、實行を見るとの六ケ敷は總ての人々の經驗なり、然るに若し一度倫敦に住ひ其國民の客に對すること懇切にして其志氣と行爲の堅實なるを見る時は自然に自分の不作法にして總てのことに堅實ならざるを恥じ、進て其市民の行爲に習はんと志し自然に英民より感化を受くることを防ぎ能はざるに至る。耶蘇の世に在ませし時は所謂稅吏、罪ある人の中に進入り、其人々と食を共にし彼等をして耶蘇自身の愛心、行爲、敎訓に接せしめ、彼等が自ら其心の卑しきに恥じ、其行ひの惡しきに心付追々悔改の念を起して耶蘇の聖志を以て自分の志となし耶蘇の命令を守て人類の爲に善き業を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なさんとを勵ましたり。是れ實に基督の道なり。「夫れ我が來るは義人を招く爲めに非らず、罪ある人を招きて悔改させんが爲めなり。」是れ實に基督教歷史の示す事實なりとす。

斯の如きは決して昔の事實に非らず、今も倘活きて働きつゝある道なり。基督者の生命は實に此の道に依りて生ず。基督を知り眞神を識るに依り我等の生命は活潑々の光を放ち、綽々として餘裕ある生涯となる。今玆に讀者たる敬愛する姉妹に問はん、諸君は如何に修養上に力を用ひ給ふや、吾人は恐る、姉妹方も吾人も亦未だ深く此の道に思ひ當らずして寧ろ他の方面即ち倘律法の下に在りて只管に基督の敎訓を追ひ求めて之を實行せんと焦つゝあるにあらざるか、是現今基督者の理想卑く實行健固ならず、反て世人によつて輕視せらるる所となりつゝある所以に非らざる乎。倘又或る先輩と稱せらるゝ人の中には、基督敎も孔孟の敎も究極する處一つなりと稱道するものあり。此等の人々は社會上の地位ある爲めに牧師、敎師は遠慮して直言親誨以て基督の道の他道に勝る點を敎へず。又彼等先輩も知ずして自ら已に得たりとせるより斯如き偏見は起れるなり。然ば吾人は姉妹方と共に深く自ら顧て、先づ吾人自ら耶蘇を知り、彼に近づき、彼の愛に感じ、彼の理想に觸れて自然に深き痛悔の念を起し心より欣んで神に仕ふるに至り、かくて基督の品性の輝きが我等の心に照るとを覺へ、進んて人をも照らすの心懸け肝要なり。「光に命じて暗より照出しめたる神我等をしてイエス、キリストの面にある神の榮光を知るの光を顯さん爲めに我等の心を照し給へり、我等この寶を瓦器に藏り此大に優れたる能は我より出ずるに非ず神の能なる事の顯れん爲なり、」（哥林多後四。六、七）又保羅は云へり「我等帕子なくして鏡に照すが如く主の榮を見、榮に榮いや增りて其おなじ像に化る也、これ主すなはち靈に由てなり」と。（哥林多三。十八）

基督耶蘇は今も倘吾人を招きつゝあり。悔ひ改めたる者を招くに非らず、義人を召し給ふに非らず、實に病ある者罪ある者を招き給ふなり。去ればとて病を好み給ふに非らず又罪を嫌ひ給はざるに非らず。否々病を痛み、罪を惡み給ふよりして之を醫やし、之を除かんとて病者を召し、罪人を招き給ふのみ。而して病を醫やし、罪を改悔せしむるの方法は決して消極的のものに非らずして自らの貴き品性に接觸せしめて罪人の心に其最良の光を呼び起さしめ、漸々主の榮光の輝を其裏に宿さしむる積極的方法なり。敢て問ふ姉妹の修養の方法は此積極的のものに在るやと。若し此方法に非らずとせば諸君は未だ基督敎の門に入らず僅かに外よりして其內を窺ひ見るの人たるのみ。

人の爲めの祈禱

祈禱は只何事か爲し遂げられんと希ひ、何物をか得んと願ふの云ひに非らずして感謝をも、頌榮をも、改悔をも含まれ在るなり。特にグリーキ原語の祈禱の意味は神に近かんとする希望なりとのことより考ふれば祈禱に依つて神と交通し、

神に接觸することを含むは明かなることとなりとす。然れば祈禱は實に基督者の特權にして世人の考が地上のことに限られたる時に吾人は眼を天上に擧げて靈界のことを學び得るなり。俗人が物質上のことのみに齷齪たる時に、吾人は無形の精神上のことに思ひを馳せて自由なるとを得るなり。況てや浮世の波風暴く世事に齟齬の多き時に當つては、人々は絶望嗟嘆に沈むも。吾人は希望に滿ち、努力を以て敢て進み得るなり。實に祈禱の特權や大にして祈禱なき國民、家庭、個人は最も貧しき人なりと云ひつべし。吾人は此特權を能く用ひて益々其功果の大なることを知らんことを切望するなり。

然れども今茲に吾人が姉妹と共に學ばんとする所は此特權を他人の爲め、國家の爲め、又萬國人類の爲に用ゆることに關することなり。

人の生活に於て最も貴きものは其の人が他人の爲に祈禱する時、特に獨り竊かに祈禱をなしつゝある時に在りとす。日常の多事を終へて獨り家人を離れて小き部屋に、庭の樹蔭に、若しくは早晨の時に祈禱に依りて神に接し、先づ家人の爲め、隣人の爲め、敎會の爲め、國家の爲めに誠實に祈りを捧ぐる此時こそ、人が基督耶蘇の足跡を履みつゝあるの時にして其人の品性の發展も實に此の貴き時に於てせらるゝなり。

人を愛すると云ふと雖も、誠に神の前に彼を記憶して絶ず祈る心なくては其の愛心は人を動かすに足るものに非らず。古往今來善き業の行はれ、其業の永續發展するには必ず其基礎に祈禱あり。人の知れざる祈禱、只事ならざる切なる祈禱あり遂に總ての妨害壓迫をも排して其事業の發展を見るを得るなり、サー、ジョルジ・ウイリヤムス氏の基督敎青年會事業に於ける夫れなり、ツリイライヲン孃のマウント・ホリーヨルク女子大學に於ける夫れなり。ウ氏が十八九歲の頃倫敦に於て其同僚青年の爲めに自分の小さき寢室に於て神と角力するが如く涙を流して祈禱したる之れ實に今日世界大の事業の基礎となれり。ラ孃が常に切に萬國間に基督敎の傳播せんことを願ひ、此が爲めに密室に於て祈禱をなしたる所、之れ實に同大學の敎育の精神上に大影響を及ぼし、外國傳道の精神をして同校に充溢せしめたるものなり。

一粒の麥地に落ちて死ざれば果を結ぶ能はず。人先づ神の前に私心を棄てて自ら死して人の爲めに祈りせずんば誠實なる愛を行ふ能はず。又神の祝福を享くる能はざるなり。然らば吾人は何事よりも先づ獨り靜かなる部屋に於て第一兩親兄弟姉妹、若しくは良人、妻君の爲めに祈り更に敎會の爲めに、青年會の爲めに其他の爲めに祈り以て吾人の最も大なる特權を利用するを要す。

文苑

クリスマス頌歌（さんびか八五の譜）

尾島直治

をとめマリアを　母とし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うまれ給へる　神の子
いはひたまひし　聖靈と
父なる神を　ほめまし

アンナのクリスマス（路二の三十六至三十八）

一、夫のうせて　百年の
半のあいだ　千早振
神と二人の　心地して
ひとりずまひと　おもほえず
いのりくらせり　神の宮。

二、義の國たつる　キリストの
世にあれますを　大神の
宮にこもりて　かてたちて
いのりしものを　今日こそは
神のひとり子　みつるなれ。

三、夫にゆきて　七年を
なげき〱し　うまづめの
身をもうらまじ　千早振
神のひとり子　一度は
我子の如く　いだきたり。

四、北にそびゆる　レバノンの
雪よりきよき　みさををも
しろしめすらん　久方の
天よりくだりし　み子ほめて
うれしかりけり　此朝け。

やす

冬朝

大根ひく門田の面に霜みえて
　さむき朝けに雁なきわたる

故郷

たらちねのをやゐまさねどしかすがに
　こひしくもあるかふるさとの山

別れてとしへぬる友のもとに

はすれめやま柴をりたきてやとれりし
　蘆の湖への雪の夕を

眞間の弘法寺にあそびける時

まゝの井のあとゝひをれはしらゆふの
　をつなか下をまほはたるなり

伊藤公の葬を送りまゐらせて後末松夫人のもとによみておくりける

時しもあれふりいつる雨に椎柴の
　そていかばかりくたしそへけむ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六日間のあらまし

三谷民子

ヲクスフォードを始めて見たのは一月二十三日で雪の舊都であつた。其れから三月十五日の午後晴れるのか降るのか極りそうもない空工合の下にどんより立たヲクスフォードに、其れと同じやうな心持ちで暫くの別れを告げて歐州大陸へ向かつて出立した。其れから四ヶ月間汽車や舟や自働車や馬車で建物と人間の渦の中にクル／＼轉ぐつて、復びヲクスフォードに着いたのは七月十四日の緑蔭こまやかに涼風掬すべき夕暮であつた。地味な保守的な大名の奥方のやうなヲクスフォードも萬國學生大會開催の場所となつたので、何んとなくどよめいて、殊更ステーションは朝來ロンドンから流れ込む代表者の爲め大學の學期始めのやうな光景を呈して居つた。

馬車を駛る程の道程ではないが荷物の御相伴で餘儀なく乘つてサマビール、カンヂ（婦人代表者宿泊者）に着くと二階の見晴らしの好い廣い部屋へ案内せられた。こゝは六日間の我家となつた。兩隣りはハンガリーとスエーデンの代表者であつた。

二年前東京で握手を交はしたミス・ラウス、ミス・サンドルスなどゝ相見た時の嬉しさ。

各國から集つた代表者が、顏の色や風俗の相違も言語の不都合も打ち忘れて、唯々同じ信仰同じ希望同じ主義、換言すれば同じ天父の膝下と云ふ心持で、もつれ易い英語の舌を不器用にあやつりながら芝生の上に膝つき合せて、英國の長いトワイライトを利用した樂しさ。

ふしや調子は同じでも文句は互に解らぬ自國の讃美歌を思ひ思ひに歌ひ合せたり、唯々音と云ふ外は何の意味もない言葉も、其熱誠は神のみならず相互に理會すると信じて集つた祈禱會の温かさ。

過去の歴史、現在の狀態、未來の希望など各自の國々を代表して戰はした議論の花はやがて美しい實を結ぶ。きざしと思へば極りなき其の愉快さ。

舊都こぞつて代表者の爲め思ひ出多き歴史の庭に園遊會或ひは清流に舟遊びを催すなど、長程の旅も異境の感想も忘れる計りにもてなされた深切さ。

大會期日の六日間は夢より早く過ぎ去つて復のあふせも約し得ず、西と東に別れねばならぬ代表者、然し慥かな事は天國で握手と信ずる事の出來る難有さ。

晝夜食事の外は間斷なしと云ふてもよし大會の集會あちこち僅かなこぼれ時間を捕まへて、出來る丈け多くのニュースを出來る丈け多くの人々に聞いたり聞せたりするので、頭も口も活動が烈しかつた爲にロンドンへ歸へつた當時二三日はぼんやりした。兎も角も今年の大會に出席する事の出來たのは大僥倖、受けた利益の多大な事はとても筆紙に盡されぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖書の研究

ピリピ書解釋（五）

改譯及び註譯（第二章第十二節より）

柏井園

十二されば我が愛する者よ、汝等常に從ひし如く我が偕に居る時のみならず、我が居らざる今は、猶更畏れと戰慄を以て己の救を成し遂ぐべし。十三　汝等のうちに働き、神の善き旨のために志を立て業を爲さしむるものは神なればなり。

常に從ひし如く　常に從順の精神を以て神に仕へし如くと云ふ意なり◎畏れと戰慄を以て　哥前二〇三哥後七〇十五にも同じ語あれども意味は異なり。己れの力弱く誘惑の力大なるを知り假にも心を弛むることなく自ら警戒することを云ふ。支那の賢哲が『戰々兢々として深き淵に臨むが如く薄き氷を履むが如し』と云へるを思ひ合すべし。宗教的の生活の一面は心丈夫に安らかに感ずるにありと雖も、他の一面はこの節に云へる如き精神なかるべからず。パウロが畏れと云ふことを說ける所は羅三〇十八、哥後七〇一などあり◎己の救を成し遂ぐべし　成し遂ぐと譯しある原語は作り出だすもしくは、働き出だすの意なり。斯く云へば救は己の努力によりて取り得らるるかの如く思はるるれど、次の節あるが爲にパウロの眞意を見ることを得べし。自ら働くは又神の我等の裏に働く業を成し遂ぐる所以なればなり◎善き旨のため　神の善き旨なり、人を救ふ神の心に適ふことなり。

十四　呟くことなく又疑ふことなくして總ての事をなすべし。十五　これ汝等が此の曲れる邪なる時代の眞中に在りて責なく雜なく疵なき神の子とならんがためなり。十六　汝等は生命の言を揭げて光の如く世に顯れたり、斯くてキリストの日に於て我れ徒に走らず又徒に勞せざりしことを誇ることを得せしめよ。

呟く　神の攝理を信じ神に任すこと能はず神に對して呟くを云ふ。昔しイスラエル人野に於てモーセに對して呟きし事跡あり。パウロも哥前十〇十に此事を引けり◎疑ふ　原語は疑ふと躊躇すると爭ふといづれにも解せらるべし。改正英譯には爭ふとせり。ここにてライトフート、マイヤ、ヴヰンセントなどの說に據りて疑ふと譯し置けり◎曲れるとはねぢけたると云ふ意なり。責なくと云ふは他の非難なきを云ふ雜りなくとは純粹なるとを云ふ、純金純酒など云ふが如し。前者は人より見たる所を云ひ、後者は其の者の質に就きて云ふ◎生命の言を揭げて　生命の言と云ふは生命を有し又人を生命に導く言なり。揭げと譯しある字を或る學者は保者の意に解す（マイヤ、ワイス等）然れとも玆にはアルフォルド、ライトフート等に隨ひて揭げと譯したり。◎光の如く　日月星辰を云ふ。ニコライ譯には『星の世

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に於るが如く光りて」と譯しあり◎キリストの日　主の日と同じく終の審判の日を云ふ。

十七　若し我れ汝等の信仰の供物と奉仕の上に灌がるるとも我之を喜ぶ、汝等すべてとともに喜ばん。十八　汝等も喜べ、我と偕に喜べ。

信仰の供物と奉仕　信仰を供物として神に仕ふることなり、奉仕とは路加一〇二十三、希伯來八〇六にあると同じ。灌がる　とは灌祭の風に因みて云へるなり。神に供ふる供物の上に神酒を灌ぎかくることは諸國の宗敎の儀式に多く行はれたる所なり。猶太にては之を灌祭と稱したり。民數記略二十八〇七に『またその灌祭は羊一匹に一ヒンの四分の一を用ふべし即ち聖處に於て濃き酒をエホバのために灌ぎて灌祭となすべし』とあり、同十五〇五にも灌祭のこと見えたり。されどここは猶太の儀式にあらず、ピルピ人の良く知れる異敎の祭に因めるやも知るべからず。舊來の譯には血を流して灌ぐともとあり原文には血を流すと云ふことなけれどもさる意味のこもり居ることは明なり◎我れ之を喜ぶ汝等すべてとともに喜ばん犠牲は喜なり。汝等すべてともに喜ばんとあるをライトフート、マイヤ等は我之を祝せんと譯すべしと云へど、此の處には適切ならず◎此の處の精神を表さんがためにエフ、ピイ、マイヤの言を引用すべし『我等か神のため人の爲に盡す所の者を永久に益ある者とせんと欲せば其は我等の心血に浸したる者にてあらざるべからず。我等に何の損する所なきものは他人を益すると能はず。價を拂ふ愛を缺くならば、たとひ諸の人の言及び天使の言を語るとも、すべての奥義とすべての知識に達するとも又我等のすべての可有を貧民に施すとも、何の益する所あらず。………イエスがエルサレムを望み見て泣かれたればこそ彼の罪多き都に五旬節の靈を降すことを得たるなれ、保羅が肉によれる同胞のためには詛はるるをも甘じたればこそ多くの人を暗黒より光明に導きたるなれ。中心の痛み無き處に靈的の種は蒔かれず。』

十九　されど我テモテを速に汝等に遣さんことを主イエスによりて望む。我も汝等の事を知りて慰められんがためなり。二十　彼と同じ心を以て眞に汝等の爲に慮かるもの一人として我にあらざればなり。二十一　すべての人は己が事のみを求めてイエス・キリストの事を求めず。

されど　如何なる連絡なるや學者の說さま〴〵なり。今まではパウロはピリピ人より離れ居ることを原として種々語る所ありし故、今話頭を改めテモテを遣すことに移りたる處ならん◎我も　汝等が我が報知を得て喜ぶ如く◎眞に　眞身の愛を以てと云ふ意なり◎一人として我にあらざればなりと云ひ、又すべての人はと云ふ、ともに餘り強き言ひ方なれば註解者種々之れを說き和げんと勉めたり。或はルカの如きは當時パウロの傍に居らざりしならんと云ひし人あり。然れともパウロの氣質と其の時の心持よりかくなりしと思へば可ならん。『エキスポジトル、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

バイブル」、のうちのピリピ書を解きし人の言ひし事忘れがたし。曰く他の人もキリストの事を求ぬと云ふにはあらされども、或時はキリストの事を求め或時は己の事を求め始終一貫してキリストの事のみを事とする人なし。テモテに至りては鍛煉により此の如き狀態以上に立ち得たるならんと。

二十二　されどテモテの鍛煉せられたることは汝等の知る所なり。彼は子の父に於ける如く我とともに福音に仕へたり。**二十三**　故に我れ我が事の如何に成り行くかを知れば速に彼を遣さんことを望む。**二十四**　されど我も直に來らんことを主イエスに於て信ず。

鍛煉　事に當り其の忠信なることを試みられたることを云ふ◎汝等の知る所　認識の意なり◎二十三、四節を見ればパウロは放殑の日近きを期したること明なり。ピレモン書二十二節にも同し期望を見るを得べし。

聖書日課

第十七週

一、約翰傳十六〇一―十五　眞理の靈
二、詩篇九十一　大能者の蔭
三、約翰傳十六〇十六―廿四　靈的幻象
四、ヨエル二〇二十八―二十九　靈的幻象の預言
六、以弗所書十六〇二十五―三十五　靈の祈り
七、約翰傳十六〇二十五―三十三　艱難と平和

第十八週　主の祈り

一、約翰傳十七〇一―三　永生に對する基督の定義
二、同十七〇七―八　父を顯はす基督
三、同十七〇九―十六　弟子に對する主の祈り
四、同十七〇十七―二十三　弟子と基督
五、同十七〇二十四―二十六　父と基督と信者との一致
六、加拉太書三〇二十三―四〇七　子たるものの一致
七、默示錄七〇九―十七　主と共に居る聖徒

第十九週

一、約翰傳十八〇一―十一　罪人の手に賣る
二、同十八〇十二―二十四　宗敎の指導者の不正なる審判
三、同十八〇二十五―二十七　弟子たちの不忠
四、同十八〇二十八―三十二　公判
五、同十八〇三十三―三十八　眞理とは何ぞや
六、同十八〇三十九―四十　死刑の宣告
七、以賽亞五十三〇十一―十二　罪人のうちに數へらる

女子青年界

●文部大臣の祝辭

（左に掲ぐるは先頃小石川安藤坂女子青年會寄宿舍落成式の席上にて讀まれし小松原文部大臣の祝詞なり）

一國文明の健全なる進步は必ずや女子敎育の發達に竢つ事あり女子の敎育は最も德操の涵養を以て重しとす、而て青年子女の德性は行住座臥の際飲食談笑の間に薰陶感化せらるるもの甚だ多く女子が長者の指導監督を要する事は男子に比して頗る切なるものあり是特に父母の膝下を離れて遊學する女學生の爲めに善良なる寄宿舍の須要缺く可からざ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る所以也、本會が從來力を此方面に致して女子教育の爲めに盡す所あるは本大臣の特に欣ぶ所也今や其事業漸次に發展を加へて第二寄宿舍建築新に成り本日を以て茲に落成の式を擧ぐ都下に來り學べる女學生の爲めに又一樂園を添へたるものといふべし冀はくば當事者諸氏の熱心懇切なる經營盡力によりて益良好ある成績を擧げ以て女子教育に資する所あらんことを聊か希望を述べて祝詞に代ふ

明治四十二年十月二十三日

文部大臣　小松原　英太郎

●女子青年會祈禱日

去十一月二十一日午後二時納戸町女子青年會寄宿舍に於て特別の祈禱會催されたり。東京女子青年會宗教委員長宮川壽美子女史司會せり。來會者は百五十人ばかりにて、滿堂の盛況なりき。先づ植村正久氏の談話あり、次に此程歸朝せる三谷民子女史フォクスフォド大會の模樣を報告せられたり。

植村氏の談話の大意は左の如し。

此間朝鮮に行つた時釜山へ着くと直ぐ或人が來てこれから韓國を旅行せられるのには十の韓語を覺えたなら何の不自由なく普通の用事は足りると云つた。成程韓語を十も知つたなら一寸買物も出來るし宿屋にも泊れるし又食事も出來やう、然し韓國には此外に我々の知らむとする事が澤山ある、即ち政治上の事、商業上の事、商業上の事及び其の風俗習慣また伊藤公の暗殺事件など、買物や食事など以上に重大で深い研究を要する問題が澤山ある。我々の學問は丁度此の十の韓語の樣なものである。多くの學生は僅か此十の語を學むで韓國を旅行せんとして居る樣なものである。天地間には我々の考の及ばぬ、解釋のつかぬ所の深いものがある。確かに此宇宙は十の言葉では知り盡すことが出來ない、而して此知り盡す事の出來ない深いものをさぐり學んて之れを味ふものが宗教てある。換言すれば宗教とは宇宙の神秘なる眞理を學ぶに用ふる言語に外ならないのである。

昔キリストはテロやアンデレがガリラヤの湖邊て網を繕てゐる所へ來られて、彼等兄弟を招ぎ、新らしい生涯に入らしめ給ふた。世の中は屢大洋に譬へられるが我々人間はまた此の逆風怒濤の難多い海濱て網引く漁夫になぞらへる事が出來る。網は破れて繕ひを要することも屢々あらふ。

世の中を何にたとへん朝まだき
漕ぎ出し舟のあとの白浪

斯く我々は網を引きまた下手な繕ひをして居る所へキリストは來て呼ばれるのである。其招きに應じて從ひ行かば今までの十の言語を知つてする通り一偏の旅行や又網打の樣な覺束ない生涯より新らしい新生涯に入ることが出來るのてある。

浪風のさはげる淵に住むとても
さはがぬ淵を心ともがな

人は誰れしも己れに立返りて靜思すれば必ず心の飢えたるを覺えるものである。先刻御話の婦人の如きも心の飢えた人てあるが或日の祈禱會に臨席してキリストの救を信じ、病を癒されしナーマンの心地がすると言ふに至つたと云ふのは丁度今まで僅か十の語で旅行してゐた人が種々深い事情を敎へられ、またそれを理解する事が出來た樣なものである。確かに神は我々を導き敎へられる。彼のヨハネを御覽なさい、キリストに來た前と後と如何に變りましたか

「イスラエルの幼かりし時我之をエヂプトより呼び返したり
(ホゼヤ　十一章)

或人の妻が發狂したので其夫は大層心配しシカゴの近傍の閑靜な所に家を設けて療養させてゐた。處が狂女は大聲揚げて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

騷ぐので近所の人々は談判に來て夫に勸めるのに妻の郷里に歸つて自由な生活をさせたらよからふといふ。そこで夫は郷里に連れ歸つたがやはり些とも効がないので再びシカコの家に歸て來た。或日妻は熟睡して恰も死人の様であつたが三日の後漸く目を覺し夫に向ひ自分は今まで何處に居たのかと尋ねた。夫は彼女は遠國に行つて居たのが已れは一刻も傍を離れずに妻の爲めに心勞し看護して居たと告げた。此れは我々人間の有様ではなからふか。神は私共の正氣に立ち返りて悔改めるのを絶えず待てゐられるけれ共我等はそれを知らないでゐる。如何に狂つても彼女の傍には常に愛する夫が在つて其正氣に復へるのを待つてゐた。顧れば諸氏が女學校に通ひ東京に出て來てまた敎會に出る様になつたのは皆神の愛の網に引かれたのではあるまいか。親切な羊飼が其愛する羊を導く様に神は我等を導き給ふのである。病氣も友の勸めも聖書も祈禱も亦今聞いた不幸な女の話も皆我等の夢を醒まざんとする神の導きである、思へば我等は實に頑是なかりし事である。今まで十五年或は廿年神は常に養はんとし、敎へんとして居られるのに、我等は僅か十の語に滿足してゐたのであつた、一度目醒めて見れば豊かなる神の愛と尊き敎とは我等の上にあつたのである。而して之を悟らせるのは即ち基督敎である。

使徒等が若し邊海に漁りて一生を送つたなら誠につまらないものであつたらふがイエスの敎へに依つて高き精神上の興味を得た。今日此の席にある諸氏も亦昔ヤコブ、ヨハネが爲した如く淺ましい夢から醒めて世界の深い眞の意味を理解せられ、國の歷史、方針、利害等を同情と深い興味を以て味はれ、彼の狂へる妻が夫の介抱によつて治癒し其愛の看護を聞て泣いた如く、眞の信仰の喜びに入られる事を切望するのである。また今日此祈禱會によりて信者の生涯に入り祈禱を初め、聖書を愛讀せらるゝことを祈るのである。

又三谷氏の述べられし大意は左の如し。

萬國學生基督敎大會は英國オックスフォルドに於て七月十四より五日間開かれましたが丁度私は彼地に居りましたので、ミス、ラウスよりの御手紙により日本婦人の代表者として出席することゝなりました、オックスフォルドはロンドンから汽車にて凡そ一時間半大學の構内は恰も一つの市をなして居ります、停車場より直に自働車に乘れば三分間位で最初の大學に着きます。

此度の大會は先年東京に於て開かれしのとは大分趣を異にしてをりました、各國より集まりし代表者の數凡て百五十人中男百人女五十人でありました。東洋人の席は前の方に設けてありました。

其處には露西亞、支那、印度、朝鮮、日本等の代表者が着席するのであります、歐米諸國の中米國は最多人數來られました、日本は四人の中三人は男、女は私一人、其他支那印度も女は各一人づゝでありました。そして各國の人々皆めいめい自分の國の服裝をして出席するのでございます。

この五日間の大會は概していへば極めて嚴肅に執行せられました。喝采は一切禁じてありましたにも拘らず時々は熱心の餘りに思はず拍手喝采するものもありましたが之をも罰するといふ程の事は無論ございませんのでした、私が深く心に感じましたる唯一つのことは「キリストに於て一つなり」とのそれでございました、此會の爲には特別列車さへ出て二つのステショーンにはちやんと出迎の人がありて馬車の用意まで整ひ居て何一つ不自由を感ぜず、私はミス、ラウスと共に午後四時此處に着し共にありしミス、サンデルの出身せられしサマビル、カレヂに到りました。此處は特に婦人の爲め寄宿舍に當てられたもので眺むれば綠の芝生には既に着せられし婦

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人等三々五々群をなして樂しげに語られて居るのか見えました、時に一人の日本の紳士が私を尋ねて居らるゝとて接待係が知らせてくれましたので「では直ぐに此處へ案内して下さい」。と賴むとやがて來られたは丹羽清次郎氏でありました、久し振りの對面に日本語で色々御挨拶をして居りますと珍らしがつて人々が大勢集まつて來て互に語り合ひました。

初めての集りは婦人のみて各々胸に名刺を着けて居るので互に首をさし延ばして向ふの人の名を讀んではいろ〳〵と挨拶するさま中々おもしろうございました。此會で皆一つづゝ聖句の暗誦をするので私は「キリスト、イエス、の心を以て心とすべし」といふ句を日本語にて申しました（各自、己か國語を用ふるを免されてありましたから）誰も解する人がなく今一度英語てといふので再び英語にて繰り返しました、次に各國に於ける事業に就いての報告がありましたが其多くはどうかもつと働く人を增し給へ、もつと金が入用だ、もつと事業が發展するやうにといふのです其最後にモット氏の演說があつたのです（大笑聲起る）

五日間は暑さが非常に烈しうございましたが每日園遊會、茶話會舟遊など中々いそがしく夜になると各地よりの人來りて話せんことを求めらるゝので寢る暇さへ無いほどでありました、唯五日間とはいへ實に兄弟の如く親睦して言ひ得ざる喜びを得ましたので最後の日別かるゝ時は何ともいへぬ感じか致しました、之等の多くの人は後再び逢ふ見込もないのでございましたが只天國にてまた會ひ見んとて、「神共に在して」の讚美を歌ひてたのしく別れました。また最後の日にはテームスの支流に沿へるカレヂで園遊會が催され一同紀念の撮影をいたしました。

英國佛國は概して青年會も發達して盛んでありますがまた一方には心を痛めるやうな現象もあるのです、在英中キンングスカレヂにて一人の學者の夫人につきチョーサーの詩の研究をして居りましたが最後の日其の夫人が語らるゝに其の方の知人にて東京に二年も住つて居らるゝ人があるが知つて居るかとのことで私は東京に居らるゝ外國人といへば多くは宣敎師であるので「では其方は宣敎師でいらつしやるのですか」と問ふと夫人は顏色を變へ「あなたの國にもまだあんな馬鹿なものが居るのですか。私はあなたの國の佛敎は實に立派な敎であんなよい敎を持つ國をここに羨しく思つて居るのです」と云はれるので私は實に意外の返事に驚きましたそして「それではあなたは佛敎を研究なされたのですか」と問ひますと「否よく研究したことは無いけれどもたゞよい敎であらうと思つたのだ」と答へらるゝので「私は研究したけれども佛敎は私に滿足を與へることが出事ませんでしたがあなたの御國の基督敎を宣敎師を通して敎へられはじめて滿足する事が出來たのです」と答へました、すると「ではあなたはクリスチャンですか」と尋ねらるゝので「ハイ左樣です」と答へると「それは殘念だ」と一言いつたきり不興げな顏をしてもう何もいはれませんでした。私も大そう不愉快に感じて歸らんとて傘を探して居る處へ一人の婦人が來られて親切に傘など一所にさがして下さりそしていはれるのに「今の御話によれは貴女はクリスチャンでいらつしやるのですか」「ハイ」それて實にうれしい。私共もクリスチャンで每週金曜日には集まつてバイブル研究會を開いて居るが次からは貴女も是非出席して下さい」といとやさしくいはるゝので私の先の不愉快に引きかへて大へんにうれしく早速次からは共に研究に出るやうになりました、また其中に天幕旅行の催に誘はれて行くとになりましたが時は丁度六月の初め頃て終日戶外にて名士の演說を聞き或は歌をうたひなどしてまことに樂しく有益なる一週間を過しました、實に凡ての事は働きて益々盛になるの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であります。

佛國は凡ての事最完備して居ります諸國より美術研究の爲に來れる學生が多くあつまつて居るので特に之等の人々の爲に寄宿舍が設けてあります、私も佛國に行きて之等の寄宿舍に一つに泊りました。晩餐の爲食堂に行くと多勢の人が集まつて居りますが丁度私の向がわに座つてる一人の外國婦人は私の顔を見るといきなり可笑しさに堪へさる樣をしてプットト吹き出しました、多分日本人といふものをはじめて見て奇妙に思つたのでありませうがあまり無禮な態度であると私も心地わるく感じました。傍に居る友は大へんに氣の毒がつていろ〳〵取りなしてくれますにも拘らず其婦人は一々私の爲す事から目を放さず不思議さうにまたさも〳〵輕蔑したやうに見守つて居りました、其後も度々無禮なることを爲されましたが私は唯朝夕この人の爲に祈りまた日本にも立派な敎育ある婦人あることを此人が認めてくれるやうに願つて居りました、聞けば此人は大へんに不幸な境遇にあるのださうです元は英國の有福なる家の大へんに可愛がられた一人娘でありましたが父母相ついて非業の死を遂げましたので彼女の失望落膽は非常で其が爲精神に少しく異情を起したのでありま す、日頃、母より敎へられし聖書はトランクの一番下にしまひ込んでもう決して一生見ないと誓つて佛蘭西に職業を求めに來ましたが矢張り精神上何處かに飢えた處があると見えて此樣なキリスト敎の家に身を寄せて來たのであります。

佛蘭西は主に舊敎が多いので新敎は極僅しかありませんある時其新敎の會堂で祈禱會があるといふので私も大へん行き度く思つて居りますと彼の奇婦人は私も新敎なのを知つて共に伴れていつてやらうと云ひ出しましたが友人は彼女と私と二人きり出すのは不安心だといつて共に來てくれることになりました彼女は出がけに私の部屋に來り寒いといけないから外套を着て行けなど〻命令をしますので私は何でも其いふがま〻におとなしく順ひ外套を取りて出ました其日は暖でしたから外套は着ずに手に持つて居ると彼女は重いであらうからとて代りて持つてくれます、今まてとはまるで打つて變つた態度で私は不思議に思つて居りました、其日の說敎は大そうよいので皆感に打たれた樣子でありました、歸途彼女は如何したものか一口も物を云ひません、然し電車の上下りなどには私をよく氣を付けて助けてくれるなど態度を以て其親切を表しました。また一週間の後の日曜にも私を新敎の會堂に伴つてくれました。

多くの外國婦人と手紙の往復もして居ります中にフランス人では彼女が一人あるのみ。昨日も手紙をおこしまして申して居りますには舊約の昔にナーマンが病める折イスウエルの幼き子を送りて慰めし如く我も今同じく君によりて慰められつ〻あるなり」と

今や東洋に於て日本は大なる使命を帶びて居ること西洋の人々も認めるやうになりました、我々は若き血を淸き熱心なる信仰を以て燃して働かねばなりません。

●女子英學塾靑年會報告

九月十三日役員會を開く、委員補缺を行ひ又各集會の日割を定む、我靑年會は創立以來年を重ねること漸く三、今後の盛衰如何は實に此時に於て定まるべし、茲に於て從來の經過成績に徵して方法の誤まれるは改正し益々本會の實を擧げんとの役員一同の切望により會則中の一二項を變更す。

一、元田博士擔當の聖書の組は專ら求道者の爲めとして設けられたれ共今後一般會員の出席を許し又各自由に質問することを得しむ、十、十一月各一回開催

二、一般祈禱會はこれまで晝の休憩時間に催されしも氣候ほ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

澄める朝の間に開くことに定む、毎月一回開催毎回出席者少數なれども信仰ある熱心なる祈は神のきこし召し給ふ所なるを信ず

猶我等は益々靈性上の發達を計り神の榮を現はさん爲に熱心に禱ることを互に約す

十月三日、會員の一名東京富士見町教會にて植村正久氏に依り受洗せり

十月二十八日、講演會を開く、井深花子夫人の講話あり「如何にして信仰生活を完ふするや」と即ち我等は出來上つたものに非ざれば全きに達せん爲めに絶えず務め勵むべきことと又其方法としては人の人格を知る事、基督と己れの關係を知得せんが爲めに聖書及び其他有益なる書を讀む事、最後に絶えず祈禱する事等は最も必要なる事なりと、我等此有益なる講話に鼓舞せられ信仰の强まれるを知る

十一月十四日より二十日迄萬國基督教女子青年會祈禱會を守る、之れに依りて祈禱の力ある事を知り又萬國の青年會員諸姉と親情の增し行くを感じたり

四十二年の暮近づきたる今日過去を省みて諸感禁じ難し、

●大阪プール女學校青年會

萬國基督教女子青年會祈禱週を十一月十四日より同十八日まで五日間守る毎朝八時よりの聖書研究の時間を之に當て定められたる題につき祈れり猶同週間中毎日祈の題につき各教師の講話ありひきつゞき地圖に依りて世界各國洩れなく祈ることを得たり其他官公立學校、一般學生、家庭等の爲めに先日來來阪中の日本女子青年會々長マクドナルド女史と祈りを共にすることを得しを喜ぶ女史は我等の爲めに特に有益なるを講話せられたり。

●大阪ウヰルミナ女學校青年會

十一月中集會の種類

講話會　一回　聯合祈禱會　一回
各級例會　二回　役員會　一回

委員會は各週に開く

尙十四日より二十日迄の祈禱週間には日曜土曜日を除く外每朝八時二十分より講堂に於て定めの題につき聯合祈禱會を開く

講話會は十月十七日午後開かる矯風會員ストラウト孃禁酒禁煙につき談られ頗る有益なる集會なりき

本月十日クドナルド孃の來校あり本科五年の集會に臨まれ席上有益なる感話ある後各役員に種々親切に勸告せらる我等女史の健康を祈る

●京都同志社女學校青年會

本校學生の約半數は當會に加入し其中正會員を傳道委員　通信委員　花の委員　勸誘委員　訪問委員　日曜學校委員　交際委員　音樂委員　準備委員　讀書委員の各部に分つ、每月一回例會を開き互に靈的生活に於ける進歩向上をはかり居れり殊に當社よりは傳道委員のみならず正會員は悉く數名の未信者と共に聖書研究を始め以て博く主の福音を述べ傳へむ事をつとむ、過ぐる萬國女子青年會祈禱週間には規定の順序に依りて連日祈禱會を開き十七日よりはマクドナルド女史の來京を機とし數回有益なる勸話を乞ひたり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

The Young Womens Christian Association Union of Japan

Mrs. H. Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss A. G. Lewis, Recording Secretary
Mrs. G. M. Fisher, Treasurer
Miss Michi Kawai, Active Member World's Committee
Miss Sumi Miyagawa, Corresponding Member of the World's Student Christian Federation

Resident Members	Non-Resident Members
Miss A. B. West	Miss K. Tristram, Osaka
Dr. Tomo Inouye	Mrs. R. Araki, Osaka
Miss Hama Hirano	Miss N. B. Gaines, Hiroshima
Mrs. Koharu Nakajima	Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss Uta Suzuki	Miss F. D. Denton, Kyoto
Miss Sarah Ellis	Miss Wynne Willson, Nogoya.
	Miss Charlotte De Forrest, Kobe.

Miss A. Caroline Macdonald, General Secretary
Miss M. L. Matthew, Tokyo Secretary

Headquarters :— 41 Sanbancho, Kojimachi, Tokyo

明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督教女子青年會中央委員が發行する機關雜誌也。
一、「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢一部郵税共金五錢とす。
一、日本基督教女子青年會は青年女子の衛生、社交、智識、靈性上の發達を計るための團體也。
一、日本基督教女子青年會中央委員左の如し。

委員長 井深花子
副委員長 岡見恵子
記錄書記 エ、ジー、ルイス
會計 フィシャー
萬國基督教女子青年會同盟委員 河井道子
萬國學生基督教同盟會委員 宮川すみ子

東京在住委員
エ、ビー、ウエスト 井上友子
平野濱子 鈴木歌子
中島小春 サラ、エリス

地方在住委員
大阪 ケー、ツリストラム 京都 佐伯小糸
京都 デントン 名古屋 ウインウイルソン
廣島 エヌ、ジー、ゲインス 神戸 デフチレスト
大阪 荒木幸子

日本女子基督教青年會幹事 エー、シー、マクドナルド
同副幹事 エム、エル、マシウ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年十二月十五日發行（每月一回十五日發行）

明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

YOUNG WOMEN OF JAPAN

Vol. VI *December 1909.* *No. XI.*

Editorials:—

A New Meaning of Christmas

Lecture:—

God Himself loves you — Miss N. E. Lewis.

Leading Articles:—

Christmas at Home — Mrs. T. Honda.

Instructions to Girls of The Day — Mrs. H. Ibuka.

Some Impressions of European and American Women — Mr. S. Niwa.

Biography:—

Elisabeth Fry — Mr. Shirai.

Still Hour:—

Some Methods of Mental Culture, Intercessory Prayer

Literary Articles:—

Hymn for Christmas, Anna's Christmas, Winter Morning, and Six Days in Oxford.

Bible Study:—

Philipians (V) — Prof. Y. Kashiwai.

Association Notes:—

（東京神田美土代町 三秀舎印行）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA